

緑の担い手

フォレストリーダー になって

笠間広域森林組合

綿 引 隆 範

私が林業に従事して初めて行った下刈は、猛暑の中でフラフラになりながら作業した事が思い出されません。そんな私も、今では後輩に指導する立場となり、切磋琢磨しながら日々の作業を行っています。

そんな中、FL（フォレストリーダー）研修の話を頂き、今後の自分自身のスキルアップのために参加しました。研修期間中は、普段は交流する機会がない茨城県や他県の事業者の方々と話すことができ、現場で工夫している事や安全管理の方法など、同じ境遇にある者同士の意見交換はとても刺激になりました。大変貴重な時間を過ごすことができました。また、講師の方々からは、森林調査や目標林型に向けた間伐施業後の検証、高性能林業機械を活用した低コスト作業システムの構築、毎日の作業管理方法などを教えていただきました。これらは、初めて知り得る知識も多く、とても興味深い話でした。

その中で、すぐに実践できると思ったのが、「指導力向上」です。作業効率を求めるあまり、一方的な考えを押し付けるばかりではなく、相手の立場になって上手く伝えられるようになれば、お互いに気持ちよく仕事ができ、自ずと作業の効率も良くなると思います。現在は、相手に伝えたい要点をまとめてから話すことを実践しており、上手いかない時もあります。が、工夫しながら継続していこうと思っています。

今回の研修では、新しい発見や課題を見つけることもできました。今後は、研修で学んだことを日々の仕事に活かせるように、失敗を恐れずチャレンジし、立派なFLになりたいです。そして、組合の中堅として、何事にも精一杯取り組んでいこうと思います。

